

目次／特別展「ポケモン化石博物館」表紙／いわて文化ノート「方割石と磨痕石～古代の生業を探る～」 p.2-3／展覧会案内 特別展「ポケモン化石博物館」 p.4-5／事業報告 北上川上流五大ダム探検大作戦 展示室外におけるイベントの数々／事業報告 なつやすみスペシャル! 「ナイトミュージアム」 p.6／事業報告 民俗講座② こどものためのワークショップ「たいけん!むかしのくらし」／活動レポート 令和5年度博物館館園実習 p.7／インフォメーション p.8

特別展

「ポケモン化石博物館」

令和5年12月19日(火)～令和6年3月3日(日)



© 2023 Pokémon. © 1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

人気ゲーム『ポケットモンスター』に登場するカセキから復元されるポケモンの「カセキポケモン」と私たちの世界の「化石・古生物」を見比べながら、古生物学について楽しく学べる展覧会です。

■いわて文化ノート

方割石と磨痕石 ～古代の生業を探る～

学芸第一課長兼第二課長 高木 晃

1 方割石とは？

「方割石」という名前の石器をご存じでしょうか？読みはホウカツセキ。1970年代後半に北海道石狩市の石狩八幡町遺跡ワッカオイ地点で見つかったものから命名されました。本州の弥生時代から古墳時代にあたる、^{そくじょうもん}続縄文時代の資料です。特徴は、名前の由来となっているように平たい円板状の石が方形や扇形に打ち割られていること。墓穴の上部に散乱していたという出土状況から、^{そうそう}葬送儀礼の一環として埋葬後に墓の上部で石を打ち割ったのだと解釈されました。

2 中半入遺跡の方割石

その後、同種の石器が北海道道央の遺跡に加えて、東北地方にも分布することがわかってきます。北東北の三県を中心として、弥生時代後期から古墳時代後期にかけての遺跡で見つかる事例が相次ぎました。私自身は今から二十年あまり前に奥州市中半入遺跡を調査した時にこの石器に遭遇しました。中半入遺跡は古墳時代中期後半（5世紀後半）に規模が最大となる集落跡で、最北の前方後円墳として知られる角塚古墳と深く関わる遺跡と考えられます。この遺跡の特徴の一つに、皮なめし工房の発見があります。

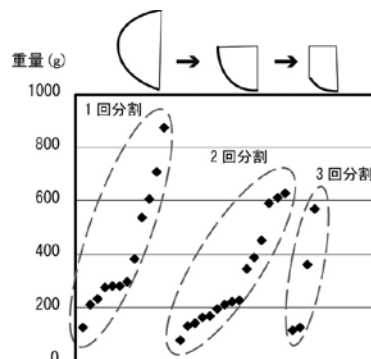
数多くの^{たてあな}竪穴建物の中に、黒曜石製の石器が大量に出土した竪穴が複数含まれていました。石器の刃を顕微鏡で観察し



中半入遺跡の方割石

たところ、皮なめしの作業工程で内側の脂肪をかき取る作業に用いた可能性が高いと判明。他にも竪穴内部に、皮なめしで行われる乾燥やくん蒸といった作業を示す痕跡も残ることから、皮革工房の存在が確実とみられます。そして黒曜石が多い竪穴では方割石の数も多いという関係があるため、方割石も何らかの作業に使ったのではと考えました。

方割石の特徴として、円板状の石を1回割って半円、更にもう一度割って扇形になるものが多いため、その重さに注目してみました。元が同程度のサイズの石だとすると、割っていくたびに重さが1/2、1/4…と減少するかと思いきや、平均値は371→323→272gといったようにそれほど変わりませんでした（下図）。この状況に合理的な説明を与えたとしたら、素材とした石の大きさに合わせて割る回数が選択されたため、仕上がりのサイズが変わらないのではないかと想定しました。つまり、手で持った時の大きさ、重さは一定のサイズにそろえられた。わざわざ割っているのは直線的な縁辺と平坦面を必要としたためではないか。



使用方法がはっきりわかる痕跡は特定できなかったのですが、墓穴が見つからない遺跡で集中的に出土する状況からは、「葬送儀礼に用いた方割石」というよりも「皮なめし作業の一部で使用し

た実用的な道具」だろうと解釈しました（高木晃「方割石に関する検討—北上川中流域における様相—」『考古学談叢』2007）。

3 落川・一の宮遺跡の磨痕石

他に東北地方でも5～6世紀の集落遺跡での出土例がいくつか報告され、これらを観察する機会はありませんでしたが、それ以上の進展はないまま時間が過ぎていった2019年のある日、一本の電話を受けました。

お相手は東京都の学芸員をなさっていた福田健司さんという方。論文等でお名前は存じていましたがそれまで面識はありませんでした。電話に出ると（初対面の相手に）もの凄い勢いでお話を始める福田さん。曰く、

「自分が都内で古代の遺跡を調査した時に、^{まこんせき}磨痕石と名付けた石器が大量に出土した。最初はどのようなものか見当がつかなかったが、皮なめしの道具ではないかと考えている。また東北地方や北海道の遺跡で方割石と呼ばれる石器によく似ていることに気がついた。実際にこの前



水沢や北海道を訪問しそっちの方割石を見せてもらったら、そっくりだった。時代は少し違うがお前さんが調べた方割石も皮革加工に使った想定をしていると聞いた。皮なめしの道具であれば、これまで見逃していた資料があちこちに存在していた可能性がある。今後、いろいろと一緒に調べたい、云々。」

まさか関東南部に類似の資料があるとは知らず驚き、また思わぬありがたいお誘いをいただきました。お話に登場した落川・一の宮遺跡は多摩川南岸の沖積地に広がり、古墳時代前期（4世紀末）から鎌倉時代末（14世紀）にかけて千年近く続く、極めて大規模な集落跡と判明し注目を集めた遺跡です。調査された竪穴は実に合計800棟余り。これらの中から合計400点ほどの磨痕石と命名された石器が出土しています。

調査を担当された福田さんは磨痕石の用途に関して、旧石器時代の研究を参考に、皮なめし作業の際に内側の脂肪をこそげ落とす使い方を想定されています。また、一帯は古代の文献記録に登場する「牧」があったと推定されること、実際に解体されたウシの骨が出土したことなどから、牛馬の皮を素材とする皮革製品の製作が行われていたと述べています（福田健司『土器編年と集落構造』ニューサイエンス社2017）。

すぐにでもこの資料を見に行きたいと思いましたが、ちょうど感染症による行動制限の時期と重なったため、東京を訪

問して資料を観察できたのは2023年2月のことでした。都の収蔵庫に保管されている大量の磨痕石を前に、福田さんにいろいろと教えてもらいながら資料を見ていくと、確かに岩手で自分が見てきた方割石とよく似てはいますがいくつか違いがあることもわかりました。

4 両者の比較

落川・一の宮遺跡の磨痕石では割れ面の中央に赤茶けた錆筋が見えるものが複数あります。もとは円板状の石を真っ二つに割る道具として、鉄製の鑿の道具が使われたことを示しています。方割石ではこうした痕跡は見られません。



落川・一の宮遺跡の磨痕石
(東京都教育委員会蔵)



磨痕石割れ面 中央の縦の筋が錆筋

また、使われた時代にも差があります。方割石は北海道の続縄文時代、東北地方では弥生時代後期から古墳時代中期に多い石器ですが、落川・一の宮遺跡の磨痕石は大多数が7～9世紀の竪穴から見つかっており、中心は奈良～平安時代のもの。北関東での出土例も今のところは見当たらず、地域的な隔りもあります。

両者の関係について、たまたま形状が似て同じように使われただけなのか、あるいは北方の技術が何かのきっかけで南関東にもたらされたことを示す遺物なのか、現時点では決め手を欠きます。今後は、両者を結びつける中間の地域や時代の資料を探すとともに、西日本など他の地域で同じような性格の資料がないか調べる必要がありそうです。

5 科学分析の成果

最後に、もう一つ驚いたことは、落川・一の宮遺跡出土の磨痕石について、残存脂質分析調査を行ったところ、石の内部から哺乳動物の脂質成分が検出されたという結果の公表です（庄田慎矢ほか「古代遺跡出土の磨痕石に遺された残存脂質」『奈良文化財研究所紀要』2022）。

残存脂質分析は主に土器などの表面に残された脂質を検出し、加工した動物の種類を調べる研究手法で、近年、様々な時代の資料に応用され始めています。この研究は石のごく小さい隙間に浸透した脂質を抽出したもので、事例が増えればこの石器が皮革加工に使われたことを裏付ける有力な証拠となるでしょう。

ここで取り上げた方割石、磨痕石ともに手近な“石ころ”を使った道具にすぎませんが、実態が漠然としている古代の皮革製品製作など、生業の様子を直接示している可能性が高く、今後も注目していきたいと考えています。

	方割石	磨痕石	要因
平坦面の使用痕	摩滅痕が広がるものが多い	弱い擦痕が全体に広がるものが多い	分割前の使い方の差
打点形状	広く膨らむバルブが観察されるものが主	深く狭い範囲で抉られた状態の打点	分割用ハンマー素材の差
打点付近の鉄錆痕	観察事例なし	打点から直線的に伸びる鉄錆痕が残る資料あり	分割用ハンマー素材の差

■展覧会案内

特別展「ポケモン化石博物館」

会期：令和5年12月19日(火)～令和6年3月3日(日)

はじめに

人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」の中には、発掘したカセキから復元されるポケモンの「カセキポケモン」が存在します。

「ポケモン化石博物館」はポケモンの世界の「カセキ」や「カセキポケモン」と、私たちの世界で見つかる「化石・古生物」とを見比べ、似ているところや違うところを見つけながらポケモンと古生物学の両方について楽しく学べる展示となっています。

ここでは、本展覧会の概要や見どころについて紹介したいと思います。

「カセキポケモン」と「化石・古生物」

『ポケットモンスター』縮めて「ポケモン」はたくさんの謎を秘めたふしぎな生き物です。水の中や草むら、森やどうくつなどに住む野生のポケモンもいれ

ば、人間と仲良く暮らしているポケモンもいます。しかし、その生態はまだよくわかっていないことが多く、これまでに1000種類以上のポケモンが確認されていますが、全部でどれくらいの種類が存在しているのか正確な数はわかりません。

ポケモンの世界には、さまざまな理由で絶滅してしまった「古代ポケモン」があります。「古代ポケモン」は各地で「カセキ」として発見され、「カセキ」を研究する「カセキ博士」たちの手によって、現代の科学力で復元されます。復元されたポケモンの姿や動きを観察することで、「古代ポケモン」がどのように生活していたのかを探ることができます。また、中には古代から全く姿が変わらずに現代まで生き残っているポケモンもあり、今回の展示ではこうしたポケモンたちも含めて「カセキポケモン」と呼んでいます。

一方、私たちの世界においても、さまざまな理由で絶滅した「古生物」が存在します。これまでに何種類の古生物がいたのか正確な数はわかりませんが、一説には数千万種以上、もしかしたら10億種以上にものぼると考えられています。

こうした古生物の一部は「化石」として地層から発見され、私たちの目に触れるところとなります。古生物を研究する学問のことを「古生物学」と言い、その研究者を「古生物学者」と呼びます。古生物学者は化石を観察し、時には現在の生物などと比較しながら、古生物がどのような姿をしていたのか、どのように生活していたのかを探ります。

比べてみよう！「ポケモン」と「古生物」

ポケモンの世界と私たちの世界には、お互いによく似た姿をした「カセキポケモン」と「古生物」がいます（図1）。



図1. さまざまな「カセキポケモン」と「古生物」

例えば、ポケモンの世界にはうずまきポケモン・オムナイトという「カセキポケモン」がいます。オムナイトは古代の海に生きていたポケモンで、うずまき状の硬い殻と10本の脚をもち、この脚を使うことで海の中をうまく泳いだり獲物を捕まえたりすることができます。

一方で私たちの世界には、同じように古代の海に生き、現在では絶滅してしまった「アンモナイト」という「古生物」がいます。アンモナイトはさまざまな形の硬い殻を持ち、中生代という時代に恐竜などとともに大繁栄した生物です。アンモナイトは中生代の終わりに姿を消したため、生きていたときの姿を完全に復元することは難しいのですが、さまざまな証拠から現在の動物で言うイカやタコ

の仲間（頭足類）とされており、同じように多数の脚（「腕」）を持っていたと考えられています。

今回の展覧会では、こうした「カセキポケモン」と「古生物」を間近で見比べることができます。また、これ以外にもぼうくんポケモン・ガチゴラスやシールドポケモン・トリデプスといった大型のポケモンの骨格のイメージ模型（図2）や、よく似た姿をしたティラノサウルスやトリケラトプスといった恐竜の頭骨などの古生物標本が多数展示されます。

それぞれの世界に存在する「カセキポケモン」と「古生物」のどこが似ていて、どこが違っているのかをじっくり観察し、いろいろな発見をしてみましょう。

いわての化石

今回の「ポケモン化石博物館」では、岩手県立博物館で所蔵している化石標本も同時に展示します。

その中には、三陸で見つかったさまざまなアンモナイトの化石などが含まれます。例えば、岩手県一関市で発見された日本最古のアンモナイト「コスタクリメニア」や、宮城県気仙沼市で発見され、新種として報告されたアンモナイト「メタダグノセラス・モトヨシエンセ」の完模式標本（ホロタイプ）などを展示する予定です。

また、1978年に日本で最初に報告された恐竜「モシリユウ」の上腕骨や、2018年に岩手県久慈市で見つかり、国内の後期白亜紀では初の確実なティラノサウルス類と見られている歯の化石（図3）をはじめ、これまでに見つかった岩手県産の恐竜や翼竜といった標本についても多数ご紹介します。

今回が東北初の開催となる特別展「ポケモン化石博物館」にぜひお越しください。スタッフ一同、多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

（専門学芸員 望月 貴史）



図2. ぼうくんポケモン・ガチゴラスの骨格のイメージ模型



図3. 岩手県で発見されたティラノサウルス類の歯化石（複製）

■事業報告

北上川上流五大ダム探検大作戦

展示室外におけるイベントの数々

令和5年6月10日（土）からテーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」を国土交通省北上川ダム統合管理事務所と共同で開催し、8月20日（日）、好評裏に閉幕しました。会場にお越しいただきました皆様には感謝申し上げます。

今回のテーマ展では、夏休み期間を含むことから、展示室外におけるイベントを多数用意しました。その一部をご紹介します。

(1) ダムカレー

一日10食限定のダムカレーを会期中、館内の軽食・喫茶「ひだまり」で提供しました。注文された方には五大ダムのうちの1つのダムの全景写真（表）と概要（裏）付きのランチョンマットをプレゼントしました。

特に土日祝日はお昼前に完売になることも多く、好評のうちに販売を終了しました。

(2) ダムカード

北上川ダム統合管理事務所と共同でテーマ展限定のダムカードを作成し、当館および各五大ダムにて配布しました。当館において、ダムカードのはけ具合は非常に早く、夏休みに入ってすぐの7月29日には配布終了となりました。

(3) ダムバックヤードツアー

7月30日に御所ダム、8月5日に四十四田ダムのバックヤードツアーなどを北上川ダム統合管理事務所と共同で開催しました。どちらも久しぶりの開催ということもあり、募集開始後すぐに定員に達するほどの人気でした。普段は入れ

ない監査廊などを見学し、ダムの役割を知ることができたのではないのでしょうか。

上記のほかにも、四十四田の森の探検やグランドホールでのダムすごろく、3回にわたる日曜講座など、多くのイベントを行いました。

今後も皆様に楽しめるイベントを通じて、展示をより一層理解していただけるように努めてまいります。

（上席専門学芸員 戸根 貴之）



提供されたダムカレーとランチョンマット

■事業報告

なつやすみスペシャル!『ナイトミュージアム』

開催日：令和5年8月4日(金)・5日(土)

8月4日と5日の両日、小中学生とその保護者を対象としたナイトミュージアムを開催しました。こちらは博物館とその資料の魅力を紹介する様々なイベントの1つで、当館職員の案内のもと、参加者が手にする懐中電灯の灯を頼りに真っ暗な展示室を探検し、いつもとは違った姿を見せる資料を観覧する催しです。今年度は2日間で計41名の方にご参加いただきました。

さて当日。参加者のみなさんは閉館後の博物館エントランスホールに集合し、プログラムや注意事項の説明の後、いよいよ暗闇の展示室に入ります。展示室の中では、遮光器土偶、水干姿や鎧姿といった時代装束、調査着に変装した学芸職員があちこちに待機しており、展示資

料や解説のほか、鉱物の特徴の話、土偶や古墳の話、岩手の歴史全般の話や仏像の話、電気が普及する以前の灯かりの話や妖怪の話、ホテルの生態の話など、実物資料に触れる機会やクイズ等も交えながら様々な事物についての説明や紹介がなされました。みなさん熱心に話を聴きながら、じっくりと資料を見て回りました。

参加された方々からは、「石に光（紫外線）を当て比べて観察するのが面白



かった」、「見るだけではなく、さわられるものがあって感動した」、「どの学芸員さんも、楽しくわかりやすく説明してくれてありがたかった」など、職員の励みとなる多くの感想を頂戴しました。



当館では、常設展示や特別展・テーマ展のほか、日曜講座や自然観察会、チャレンジ!はくぶつかん、博物館まつりなど、年間を通して様々なイベントも実施しております。ぜひお気軽にご来館ください。

（専門学芸員 村田 雄哉）

■事業報告

民俗講座② こどものためのワークショップ「たいけん!むかしの暮らし」

開催日：令和5年10月22日(日)

この講座は、電気や水道がなかった頃の生活を当館所蔵の民俗資料を使って学ぶ、こどもを対象としたワークショップで年2回開催しています。今年度は、第1回37名、第2回39名の皆様にご参加いただきました。

2回目となる今回は、稲の収穫時期に合わせ、千歯こきを使い、稲の穂先から実を取る脱穀作業を行いました。櫛のように並んだ鉄製の歯の部分に稲穂をひっかけて粉を取ります。次に唐箕とうみを使い、粉を選別しました。また、そばの実を石臼を使って挽いてもらいました。

会場となった屋外展示曲り屋において米作りにまつわるパネル展示も行いました。収穫の時期に見られる稲束の干し方は地域によって異なり、その呼び名も

様々です。稲を干している状態やその構造物を稲架はこといいます。山間地域の稲架は、「ハセがけ」といい、2本の棒柱を立て、わたした横棒に稲束の真ん中を広げて掛けます。当館の曲り屋脇にあるのはこのタイプです。県南部の稲架は、「ほんによ」、「ほによ」などと呼ばれ、1本の杭棒に稲束を交互に掛けて干します。稲を天日で乾燥させると、機械と異なりゆっくり乾燥させ、米が割れるのを防ぎ甘味や旨味が増すとされています。

ワークショップで使用した稲束は、岩手県立盛岡農業高等学校植物科学科作物研究班の生徒さんたちが育てて収穫した稲です。盛岡農業高校の稲作栽培の歴史は古く、明治21年から受け継がれ、今年で125年を迎えたそうです。当日は、

4名の生徒さんにもワークショップを手伝ってもらいながら米作りについてもご紹介いただきました。

参加したお子さんたちは初めて見る昔の道具に興味津々。曲り屋の雰囲気を楽しむながら実施しました。

(主任専門学芸員 近藤 良子)



■活動レポート

令和5年度博物館館園実習

開催日：令和5年8月17日(木)～8月24日(木)

8月17日から24日(21日休館日を除く)にかけて当館で博物館館園実習が行われました。県内外の大学から11名の実習生を迎え入れ、全日程を無事に終了することができました。

博物館には、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他関連する事業を行う学芸員という専門職員が必要です。博物館法では「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得」とあり、博物館に関する科目を履修し単位を取得すると学芸員の資格を得ることができます。博物館に関する科目の中には大学での講義だけでなく、現場での実習が含まれるため、当館でも毎年博物館実習を実施し、これまでも数多くの実習生

を受け入れてきました。当館は地質・考古・歴史・民俗・生物・文化財科学それぞれに専門の学芸員がいるため、これらの講座はもちろんのこと、解説員による講座、総務課からの講座など総合博物館ならではの多分野にわたる充実した実習内容となっています。

解説員による研修では、各々が選んだある1つの展示品の解説文を考え、展示室で模擬解説を行いました。説明する上での聞きやすさや、わかりやすい説明の構成等を熟慮している様子が窺えました。歴史部門の講座では、展示替えや襖の解体、資料整理等を行いました。実際に展示をするにあたりどのようなことに気をつけなければならないのかを学び取っているようでした。民俗部門の講座

では、民俗講座の補助を行いました。ご家族向けの講座ということもありましたが皆終始丁寧な対応であり、こどもへの説明の仕方なども各自工夫が見られました。その他、広報物の仕分け作業等も体験し、学芸員の職務の幅広さを実感しているようでした。

(専門学芸員 昆 浩之)





岩手県立博物館

IWATE PREFECTURAL MUSEUM

インフォメーション 〈令和5年12月1日～令和6年3月31日〉

ご来館の皆様へ

- 12月19日(火)～3月3日(日)の間、当館駐車場の御利用に予約が必要となります。詳細は当館HPにてご案内いたします。
- 以下の通り臨時休館・開館いたします。
臨時休館：12月13日(水)、12月14日(木)、3月7日(木)
臨時開館：12月25日(月)、1月9日(火)、1月15日(月)
なお、年末年始(12月29日～1月3日)は休館いたします。

展覧会

●テーマ展「早池峰山の花と森」

令和5年9月23日(土・祝)～12月3日(日)

会場：2階・特別展示室

北上山地の最高峰である早池峰山。世界に一つしかないその自然の魅力を、研究史とともに紹介します。

●特別展「ポケモン化石博物館」

令和5年12月19日(火)～令和6年3月3日(日)

会場：1階・いわて自然史展示室

○臨時休館と臨時開館

特別展「ポケモン化石博物館」の開催に伴い、以下のとおり臨時休館・開館します。

臨時休館：12月13日(水)、12月14日(木)、3月7日(木)

臨時開館：12月25日(月)、1月9日(火)、1月15日(月)

○駐車場の利用制限

特別展「ポケモン化石博物館」会期中の当館駐車場の利用は、予約制となります。当館HPでご案内いたします。

※常設展示のみ観覧の場合も駐車場の予約が必要となります。

○特別展の入場予約

特別展「ポケモン化石博物館」への入場は、予約制となります。詳細は当館HPでご案内いたします。

○特別展の観覧料

特別展「ポケモン化石博物館」を観覧する場合は、特別入館料(一般・学生1,200円、小中高生400円、未就学児無料)となります。特別展を観覧しない(常設展示のみを観覧する)場合は通常の入館料となります。

※入館料免除につきましては、当館HPをご確認ください。

○特別展特設ショップ

特別展「ポケモン化石博物館」の特設ミュージアムショップは、特別展を観覧したお客様のみ入店できます。入店には、当日の特別展入館券が必要です(当日限り、再入店不可)。

○イベントの休止など

特別展「ポケモン化石博物館」の開催に伴い、12月中旬から3月上旬まで定例イベント(たいけん教室、チャレンジ!はくぶつかん、ミュージアムシアターなど)をお休みします。また、特別展会場となる「いわて自然史展示室」は11月21日から、特設ミュージアムショップとして使用する「体験学習室」、「映像室」は12月1日から順次閉室します。



特別展特設サイト



予約サイト(駐車場の予約はこちらから)

週末の催し

◆ミュージアムシアター

毎月第1土曜日 13:30～15:00頃 講堂 当日受付 視聴無料

○12月2日 フィルム映画第3弾(アニメ/99分/小学生～一般向け)

MARCO 母をたずねて三千里

※1月～3月はお休みです。

◆チャレンジ!はくぶつかん

毎月第2・第3土曜、日曜(12月は第1・第2) 小学生向け 随時受付

チャレンジ! マークをさがしてはくぶつかんをたんけん!

12月 2日・3日・9日・10日 テーマ：紫(むらさき)

1月 お休みです。

2月 お休みです。

3月 9日・10日・16日・17日 テーマ：○(まる)

◆たいけん教室～みんなのためそう～(事前申込制)

毎週日曜日 13:00～14:30 幼児(3歳以上で保護者同伴)・小学生10名程度

さまざまな遊びやものづくり、実験を体験してみよう。

※全プログラム有料です(材料費代/プログラムごと異なります)。

※予約は専用メール(一度に3名まで)で受け付け、応募多数の場合には抽選を行います。詳細は博物館ホームページをご確認ください。

12月	3日 まゆで干支づくり(辰) 10日 まゆで干支づくり(辰)	2月	2月はお休みです。
1月	1月はお休みです。	3月	10日 ヨーヨーの絵つけ 17日 アンモナイトの消ゴムづくり 24日 ★天然石のフォトフレーム

★印は午前(10:00～11:30)と午後(13:00～14:30)の2回あります。

利用のご案内

■開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

■休館日 月曜日(月曜が休日の場合は開館、翌平日休館)

※年末年始(12月29日～1月3日)

※9月1日(金)～11日(月)は、資料整理のため休館します。

■入館料 一般330(150)円・大学生150(80)円・高校生以下無料

()内は20名以上の団体割引料金

※岩手子育てパスポート所有者で、パスポートに記載のお子様と一緒に来館された場合は、入館料免除となります。

※学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は、申請により入館料免除となります。

※療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。

岩手県立博物館だより 第179号 令和5年12月1日発行	編集 岩手県立博物館 〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34 Tel. (019)661-2831 / Fax. (019)665-1214 発行 公益財団法人岩手県文化振興事業団 〒020-0023 盛岡市内丸13-1 Tel. (019)654-2235 / Fax. (019)625-3595
------------------------------------	---

県博日曜講座

第2・第4日曜日 13:30～15:00 当日受付 聴講無料

当館学芸員等が岩手の文化や歴史、自然について解説します。

12月10日「館蔵品でみる江戸時代のうるる本」

講師：昆 浩之(当館学芸員)

※特別展「ポケモン化石博物館」開催中はお休みです。